

ファミトラの活用事例

ご利用いただいたお客様の声をご紹介します



家族の資産にあんしんを

ファミトラ

USER INTERVIEW

ファミトラの活用事例

- | | | | |
|----|-----------------------------------|-------|------|
| 01 | 小林 一行 様 (受託者)
父から息子へ信託した事例 | ————— | p.3 |
| 02 | 小林 ゆう子 様 (受託者)
父から娘へ信託した事例 | ————— | p.7 |
| 03 | K.S 様 /Y.S 様 (受託者)
母から娘へ信託した事例 | ————— | p.11 |
| 04 | K.D 様 (委託者)
父から息子へ信託した事例 | ————— | p.15 |



01 USER INTERVIEW

ファミトラの活用事例

小林 一行 様

「家族信託」及び「ファミトラ」を利用しようと思ったきっかけを教えてください。



父に認知症の症状が出始め、私一人ではサポートしきれないと感じ、介護施設にお世話になりたいと考えたことが、家族信託の利用を検討するに至った一番最初のきっかけです。

父を介護施設に入居させるためには、父が所有している自宅を売却する必要がありました。と言うのも、コロナ禍で自分の収入も減ってきておりましたし、父が受給している年金を含めても、入居費用をまかなうことは到底できなかったのです。

そこで、たまたまチラシを投函してくれた不動産業者に見積もりを取ろうと思い連絡したところ「認知症になると財産が凍結されてしまい、息子の私であっても父の不動産の売買を自由にできなくなる」という話を聞きました。

そして、その対策として「家族信託」という制度があるので利用してみてもどうかという話を聞き、不動産会社が提携している会社の方から家族信託について教えていただき、検討を開始しました。

ですが、最初に手数料のみで30万円程かかり、さらにその後、弁護士さんへの支払いや、登記費用などで、20万円～30万円以上費用が必要だと聞き「そんなにかかるんだ」と驚きました。

とても高額なのでどうにかできないかと感じ、自分でインターネットを使って調べていた所、ファミトラさんを見つけました。料金をお問い合わせすると、非常にリーズナブルだったので、ファミトラさんをお願いすることにしました。

当時、色々お調べいただく中で、ご不安も多くあったのではないのでしょうか？

そうですね…。「もし今後、家を売れなかったらどうなるんだろう」という不安はありましたよね。そうすると、父親を介護施設に入れることが出来なくなってしまうので。

少しでも介護費用を負担してくれるような親族がいたら、まだ在宅介護とかの手段も考えたかもしれないですけど、自分の場合、そうはいかなかったですね。



私の家庭よりももっと大変な所はたくさんあるんですけど、自分的には働きながら介護をするのに限界を感じていましたし、もし今後自分も潰れてしまったら、共倒れになってしまうので「そうなる前に準備をしないと」という想いでファミトラさんに相談しました。

ファミトラをお選びいただいた決め手は何だったのでしょうか？



やっぱり、費用の安さが一番大きかったです。

自分じゃできないことなので、費用がかかってもしょうがないっていうのはありましたけど、それでもやっぱり「安く抑えたいな」という気持ちはありました。

ただそれだけではなく、相談した際の対応が非常によかったのも、ファミトラさんをお願いしようと思いましたね。担当の宮本さんに丁寧に説明していただいたおかげで、仕組みや進め方などもしっかりと理解することができました。

家族信託組成までの流れについては、いかがでしたでしょうか？

ファミトラさんをお願いすると決まってからは、本当にあっという間でしたね。法的な手続きに多少時間がかかった部分もありましたが、公証役場での手続きや不動産登記の書き換えなんかもスムーズに行うことができました。

普段仕事もしていますし、自分一人でそういった手続きをやる余力はなかったのですが、ファミトラさんは弁護士や司法書士、税理士などの専門家にもいつでも相談できる体制になっているので、色々教えていただきながら必要な事は指示していただけて、非常にありがたかったです。

法的に弁護士でないと対応できないような部分は弁護士の先生が、登記の手続きなどは司法書士の先生が、それ以外の部分はファミトラさんがという風に、それぞれ対応してくださりました。

法律的な知識とかある方だったら、「この部分だけなら自分でやれるんじゃないの」とかもあると思うんですけど、私は全然そういうのがわからないので（笑）そういった意味でも、お任せできて本当に良かったと感じます。

信託契約書で定めた信託の目的は、どういったものだったのでしょうか？

父の認知症が進行して介護が必要になった場合でも、問題なく施設への入居費用や、日常的な介護費用の捻出ができるようにすることを目的として、父の預金や土地、建物を管理する権利を私に委託するという内容で信託契約を締結しました。

契約の中では、信託目的に沿って私が不動産を売却できるように定めておいたので、いざという時にも金銭面で父の介護に困ることはなくなり、安心できるようになりましたね。



ファミトラが信託監督人になるということについては？

家族信託を締結して終わりというわけではなく、信託監督人として長期的に付き合っただけのことは非常にありがたいなと感じますね。

特に私は、事務的なこととか細かいことは苦手なので、受託者の義務である帳簿の作成の方法などについても色々教えていただけて助かっています。

また、自分には弟がいるのですが、弟に対して「契約内容に従ってきちんと管理しているよ」と言える証明になりますし、何よりも信託監督人がいることで、受益者である父にとっても安心感が保たれる仕組みになっていると思います。

家族信託を組成した後の変化について教えてください。



そうですね。心理的な面ですごく楽になりました。それまで抱えていた、漠然とした不安や悩みから解放されましたので。

父も、デイサービスに通わせたりしていたのですが、行きたがらない日があったりして…ヘルパーさんにもお手伝いいただいたんですが、それでもなかなか通わなかったりで…。

そういった部分での心配事もあったので、家族信託を組成することによって、将来に対する不安が少し軽減されたように感じますね。

「家族信託」というものを知らなかったら、不動産を売ることも出来なかっただろうし、認知症と診断されてしまったら、もう何も出来なくなってしまったと思うのですが、私は一切そういった事実を知らなかったで…。「家族信託」を知る事ができただけでも非常に良かったなと思います。

最後に、同じように悩みを抱えている方々にアドバイスをお願いします。

家族信託にしても生前贈与にしても、対策は本当に早めに検討、実行しておいた方が良いと思います。

私の友人も、去年お父様を亡くされたのですが、財産を引き継ぐ予定だったお母様が認知症を患っており、全財産が凍結されてしまって解除ができないままのようです。お父様が数億円規模のローンも組んでいたようで、今その負担が友人にきており非常に苦勞されている様子なので…。

老後の財産管理方法として成年後見制度なんかも知られていますが、非常に手続きが大変だったり、費用が高額だったり、不便な点もたくさんあるので、その前にやはり、家族信託を結んだ方が良いと思いますね。本人が元気で健在なうちは、将来について考えることを嫌がるかもしれませんが、本当にいつ認知症になるかわからないですからね…。

私の父親も健康だったし、病気らしい病気もしていなかったので、まさか認知症になるなんて思っていませんでした。

なので「まだ大丈夫だろう」ではなく「大丈夫なうちに」できる事をやった方が絶対良いと思います。

ファミトラさんをお願いして、費用も非常に安く済んでおり本当に感謝しています。わからないことも、丁寧に教えていただいて。手続きも自分一人だと絶対できないことなので、それを全部代行していただけたことに非常に感謝しています。ありがとうございました。



小林様、貴重なお話をお聞かせいただきありがとうございました。（ファミトラ一同）



02 USER INTERVIEW

ファミトラの活用事例

小林 ゆう子 様

家族信託を検討したきっかけを教えてください。



最初は「家族信託」という言葉を全く知らなかったのですが、テレビのニュース番組で家族信託の特集を観た友人から話を聞いたことがきっかけで、私も調べるようになりました。

実はちょうど同じ時期に、別の友人からも親族が急に倒れたという話を聞いたんです。意思能力がなくなってしまい、銀行口座から預金が引き出せない状態になってしまったみたいで…。

「口座にはいっぱいお金があるのに、引き出すことができないから借金しないといけないかも」という話を聞いた時に「ちょっと怖いな」と思い始めました。

その二つがちょうど同じ時期に重なったこともあって「あ、これはやるべきなのかな」と感じ、検討するようになりましたね。

なぜ、ファミトラにご相談いただいたのでしょうか？

友人との会話の中で「家族信託は自分でもできるよ」という話がありました。専門家に頼まなくても自分でできるって。なので、最初は自分でやろうと思い、ネットで調べていたんです。でも、自分でやって、もし不備があったら、結局無効になってしまうと書いてあったので、専門家をお願いすることにしました。

検索していくと、弁護士事務所さん、司法書士事務所さんが結構出てきたんですけど、なんだか、硬い、難しい感じがして…。それに、手数料の内容を見ると、すごく高くて、100万円近くかかったりとか、場合によっては毎月、毎年とかで何十万とかかかるっていうのを見て…。

両親の大切な財産を守るためにやるのに、財産が減ってしまうって本末転倒だなという印象があったので「やめようかな…」と思い始めたんです。

そんな気持ちで検索している中で、ファミトラさんを見つけました。親しみやすく相談しやすい印象を受けたのと、『価格満足度ナンバーワン』というところに惹かれ、早速LINEを追加して、資料を請求してみることにしました。



なぜ「今」検討しようと思ったのでしょうか。タイミングもあったのでしょうか？



正直、父はすごく元気なんですけど、友人から話を聞いたタイミングもあって「今じゃないか」って勘みたいなものを感じました。

それに、両親はこれからのことを話したがっていたんですけど、今までちょっと避けてきていたところもあって…向き合うのが少しおっくうだったんです。

でも、これを機にやってもいいんじゃないかっていう気持ちが動いたので、始めることにしました。「備え」という気持ちが一番強かったかもしれないですね。

資料請求の後、ファミトラの対応はいかがだったのでしょうか？

資料を請求したら、5分も経たないうちに電話がきました(笑)
でも、このスピードがすごく重要で、最終的にファミトラさんをお願いする決め手にもなりました。「相談でお金がかかるわけでもないし、相談すれば家族がどんな状況かもわかるかも」と思ったので、話を聞いてみってから決めることにしました。

その後のやりとりは、LINEやZoomで行いました。ピアノの講習をZoomで受けていたりもしたので、Zoomには慣れていましたし、とても気軽に利用できてありがたかったですね。また、私は外に出るのは問題ないのですが、両親が外に出るとなると、コロナがより心配だし、準備も多く必要ですしね…。やっぱりコロナ禍で外出するのが少し怖いところもあったので、そういった負担がなくなり両親も喜んでいました。



どのような内容で信託契約を組成しましたか？ご不安は解消されましたか？



私は「受託者」や「委託者」という専門的な言葉はもちろん、「家族信託」という言葉さえも知らなかったので、ファミトラさんに勉強させていただきながら進めていきました。財産がどれくらいあるかとかも、親子であってもなかなか触れる機会がない部分だと思うんですけど、信託をするにあたって、ざっくばらんに話し合うことができたように感じます。

話を進めていく中で、本来父だけの名義であった不動産が、20年前、一部の土地を母に贈与した結果、共有名義となっていたことがわかりました。信託をする上で、そこが問題点であるということも私一人ではわからなかったんですけど、スペシャリストの弁護士さんや司法書士さんが「共有不動産は一人の名義に変更した方が良い」という風に、

うちの課題や解決策を吸い上げてくださりました。その際も、担当職員である宮本さんがパイプ役となって間に入ってくれたので、安心できましたね。また、私には障害を持った兄がいるんですけど、両親は「自分たちが亡くなった後、兄がどうなるのか」というところを不安に感じていました。両親が亡くなった後は私が面倒を見るとってはいるものの、兄に対してちゃんとお金を残したいと…。

そこについても、第二受託者を主人、第三受託者を長男みたいな形で、先のことまで考えて「大丈夫だよ」って言えるようにアドバイスをしてくださったのが、すごくありがたかったです。この家族信託によって、兄の将来のこととか、自分たちが亡くなった後のことも安心できたみたいで、それが一番良かったんじゃないかと思います。

成年後見制度についてもご検討したと伺いました。

そうなんです。現在兄がお世話になっている施設の関係者の方から「成年後見人をつけるのはいかがでしょうか？」とお勧めされていました。

ですが、別の関係者の方の話だと、後見人が預金を勝手に引き出して、それが黙殺されているといったケースもあるようで…。成年後見人は一度付けたら外すとかもできないみたいですし、後見人への報酬も桁が違うくらい高額になっているので悩みました。

それに比べると、ファミトラさんは本当に破格ですよ(笑) だから、安すぎて逆に少し不安だったんです。私としては、今後もフォローとかアドバイスとかしてもらいながら、長いお付き合いをしたかったので「大丈夫かな？」って。

だけど、ただ費用が安いだけでなく、対応においても誠実で真面目という印象が強かったので、信用できるなと感じ、お願いすることにしました。

そして、信用できるから、このインタビュー企画も受けたいと思いました。それは、何かのお役に立てればっていうのももちろんあるんですが、自分達のためでもありますね。やっぱり、家族信託が広がって、ファミトラさんが大きくなってくれば、安心ももっと増していくので！大きくなってもらわないと困ります(笑)



家族信託を締結した後、心境の変化はありましたか？



なんかこう、頭の中の断捨離ができたというか、すっきりして心が軽くなったな～という感じですね。

親子でも、結婚などで離れてしまうと、素通りしたくなる話ってあると思うんですけど、今回家族信託をすることによって、そういう今まで話せていなかったことを話すことができました。

例えば認知症になってしまったら、口座が凍結されたり、土地も建物も売れなくなったり…そうすると、治療費とかに充てるお金がなくなってしまったり、施設に入るとなった場合も、お金を用立てしなきゃいけないりますよね。

だけど、そうなる前に、父が今まで頑張って働いてきて得た財産を、なるべく有効に使えるような形にすることができて良かったです。

正直、父に対しては、少し言い出しにくい点もありました。土地と建物の名義を私に移転しなきゃいけないこととか…。「そんなのだったらやらない」とか言うかなと、言う前はすごくドキドキしていました。

でも、有効に使っていくには、私が管理して、どんな時でもきちんと利用できるようにするという話の上でしたので「ゆう子に全部お願いしたいと思っているから、全然気にならないよ」と父が言ってくれてホッとしました。その後父が、長年書き溜めてきた自分史を見せてくれたというエピソードもありまして…。父自身も、色々整理できて同じ気持ちなんじゃないかなと思います。

最後に、同じように悩みを抱えている方々にアドバイスをお願いします。

家庭ごとに、本当に十人十色の悩みや事情があると思うんですけど、ファミトラさんはそれを汲み取って、一緒になって家族信託を組み立ててくださいます。

なので、ご両親が年齢を重ねる中で、これから先のことについて漠然と悩んでいる方は、一歩でも半歩でも踏み出して貰えば良いと思いますね。相談してみてから、具体的なこととか、本当にやるべきなのかとかを決めていけばいいんじゃないかなって…。

家族信託に長けている弁護士さんや司法書士さんも一緒になって、一番良い答えを出してくださったなと私は思っているので、本当に良いチームだなんて…チームファミトラだなんて思いました。

褒めることばかり浮かぶせいで、回し者みたいに思われそうですね（笑）ファミトラさんは本当に気軽に相談できる場所なので、まずはぜひLINEの登録を！（笑）



小林様、素敵なお話をお聞かせいただきありがとうございます！（ファミトラ一同）



03 USER INTERVIEW

ファミトラの活用事例 奥様のお父様の信託事例

K.S 様
(奥様)

Y.S 様 ご夫婦
(ご主人様)

まず初めに「家族信託」を検討し始めたきっかけについて教えてください。



Kさん: 母がたまたまお隣に住んでいる方から家族信託の話聞いたことがきっかけです。

去年の2月、父が進行性核上性麻痺という難病にかかってしまったのがわかり、老人ホームを探さないといけなくなりました。その時、主人が偶然駅でシニア向けのお悩みをまとめて相談できるような他社のサービスを見つけてきたので、連絡して相談に乗ってもらっていたんです。

FPさんに来ていただいて、ケアマネさんのご紹介とかホームに入った時のライフプランとかを相談している中で、FPさんから「核上性麻痺って認知症を伴う難病なので、もしお

父様が認知症を発症してしまったら、お父様名義の家や土地を売ることができなくなってしまいますよ」という話を受けました。

名義を移すにもお金がかかるし相続全般の話が絡んでくるので「大変だ、どうしよう」と悩んでいた時に、母がお隣さんから「うちも似たような状況で家族信託をやったのよ」という話を聞いたんです。そこで初めて家族信託を知り、検討を始めた感じですね。

そんな中で、ファミトラへご相談いただいた経緯はどういったものだったのでしょうか？

Kさん：お話を聞いた時、ちょうどFPさんと相談しているタイミングだったので、主人がFPさんに「家族信託っていう制度があるって知ったんですけど、実際のところどうなんですか？」と尋ねました。

すると、「正直すごく新しい制度で扱っている専門家が少ないので、相場感とかを明確にお答えすることはできない。紹介できる司法書士の方はいるけど多分150万円くらいかかります」と言われてびっくりしちゃって……（笑）

そこで主人がWEBで「家族信託」って検索してみたら、ファミトラさんが出てきたので「一度相談してみよう」ということになりました。

偶然のつながり合わせから御社にたどり着いたような感じです。新しい制度だから費用がかかってしまうのはしょうがないとは思っていたんですけど、異様に高いなと感じて……。それで他にもありそうだなと思い調べていたら、ファミトラさんは大手金融機関さんからの出資を受けていたり、すごくちゃんとしていそうだったんです。

Yさん：相談し始めた時に並行して御社について色々調べていたんですけど、代表の方が以前事業を立ち上げてイグジットしていたりと、「新しい市場に対して感度の高い方なんだろうな」という印象を受けました。金融機関なんかとも提携を進めているという記事もあったので、信頼が置けそうな感じがしてファミトラさんに決めました。



信託を検討するにあたって、これまで抱えていた課題や目的について教えてください。



Kさん：私は一人っ子なんですけど、父がホームに入居するとなった場合、定額のお金がかかってくるという問題がありました。

父の企業年金とかを合わせたら一応払える状態ではあるものの、その後、じゃあ今度は母がホームに入りますっていう状態になった時、そのお金を払うためには、どうしても土地とか家を売って形になると思っていて……。

母がすごく心配していたのは、もし家や土地が売れないとなってしまうと、結局私たちがお金を負担することになるということでした。

「そういう迷惑はどうしてもかけたくないから、家と土地をいつでもあなたたちが売れるようにしてほしい」というのが母の願いだったんです。なので、母が施設に入る時や不測の事態があった時、父の病気が進行して認知症のような症状になってしまった時などに、きちんと資金として、信託を受けた財産を私たちが売却できるようにするということが今回の目的ということですね。

父を委託者兼受益者、母を第二受益者、私が受託者、夫を第二受託者とする信託契約を締結することで、母の願い、そして信託の目的が叶う形になりました。

話を進めていく中で、ご家族で意見が割れることなどはなかったでしょうか？

Yさん：家族信託なのか、後見制度なのかかわからないけれど、3人（Yさん、Kさん、Kさんのお母様）の中で何かしら対策しないとまずいなっていう共有の危機意識があったので、意見が割れることはなかったですね。お父さん（委託者様）にも拒否されるかなとか思っていたのですが、自分も心配だから早く進めてほしいってことで。

Kさん：やっぱり、進行性っていう名前がつくだけあってすごく早いんです。1ヶ月前にできていたことが1ヶ月後にできなくなるっていうことが少しずつ増えていったので、早め早めっていう意識が全員の中であったということはあるですね。



Yさん：宮本さんから「気付いたらもう認知症が進んでしまって話がまとまらなくなるということもあり得るので」という風にも言われていましたし、「信託します」ってことを明確に言えるうちに早くっていう意識がすごくありました。実際に手遅れになるケースもあるとお聞きしたので、本当に怖いというか……意識がはっきりしてちゃんと意思も明確なうちに、早く進めちゃわないと怖いなという想いでしたね。

Kさん：母は結構しっかりしているんですけど、やっぱり動揺はありました。難しいことなどは父に頼っていたこともあったので、その父が病気により不安定になることで「どうしてこんな難病になっちゃったんだろう」という理不尽なことに対する怒りや不安があったようで……。

ただそれでも、私が一人娘なこともあって「お金のことは迷惑かけないぞ」みたいな気持ちはすごく強かったです。多分それで「進めたい」って動きだしたんじゃないかなと思いますね。

ファミトラを選んでいただいた決め手・利用いただいた感想をお伺いできますか？

Yさん：費用が安かったということはもちろんあるんですけど、敷居が低かったというところですかね。「今こんな状況なんですけど」というのを最初にLINEで相談して、そこからけっこうやり取りを重ねましたが、宮本さんのレスポンスが早かったこともあり、無料相談をしたその日のうちに「家族信託をやる」という話になりました。気軽に相談できたのが良かったです。

Kさん：ただ、費用が結構安いこともあって、委託者の父が「本当に大丈夫なのか。こんな安いなんて嘘に違いない」とか「もっとお金がかからないか確認しろ」とか言ってしまうことはありました（笑）

でもそこに関して、契約書の読み合わせとかを全員でしっかりやってからは大丈夫になったみたいです。父は今言葉も出づらくなってきているんですけど、すごく一生懸命自分で「これと余分に弁護士費用とかはいらないんですか？」とか頑張って弁護士先生に質問していました。

弁護士先生に、色々不安なことについても全て回答いただいて安心していましたね。最初はすごく半信半疑でしたけど（笑）

家族信託を組成する前と後で変わったことなどはありますか？



Yさん：締結した後は「とりあえずこれで安心だね」という話をしました。実際に困ったシチュエーションはまだそんなに出てきてないので、「ああ良かった」みたいなのは実感値としてはまだないんですけど、とりあえず最悪の事態は防げるようになったので良かったなと思っています。

Kさん：ホッとしたっていうのはたしかにありますね。この間初めて帳簿を出させていただいたんですけど、一回経験してみることで「ああ、こういうことなんだな」という感覚も掴めましたね。

最後に、同じようなお悩みを抱えているお客様へメッセージをお願いします。

Yさん：メッセージを伝えるとするならば、そこまで難しくなくていいことですかね。もちろん調べ始めたら色々なパターンや事例があるとかでキリがないんだろうけど。

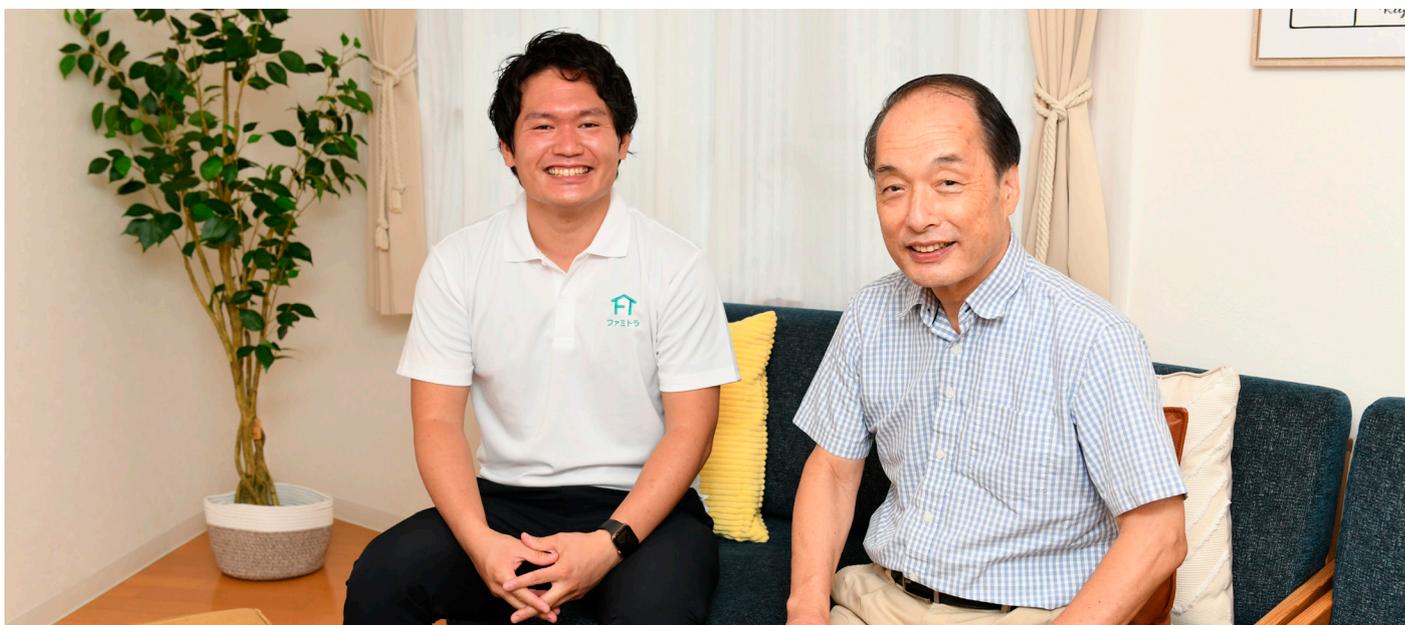
ネットに書いてある説明とかの方がややこしいんですよ（笑）「こういうデメリットがあります」みたいな。読んでもよくわからないし、じゃあ聞いてみようって感じでしたね。

ファミトラさんに聞いて回答が返ってこないことや、難しすぎて理解できないってことはないですし、ちゃんと相談すれば十分に理解できる制度なので、まずは気軽に相談してみたらいいんじゃないかなと思いますね。

Kさん：うん、思ったより難しい。敷居が高いわけでもないんで、まずは相談してみた方が早いなって思います。そこでお話を聞いたらいいねって多分なるんじゃないかな。



Y.S 様・K.S 様、貴重なお話をお聞かせいただきありがとうございました。（ファミトラ一同）



04 USER INTERVIEW

ファミトラの活用事例

K.D 様
(委託者様)

ご相談いただくにあたって「家族信託」という仕組みについてはご存知でしたか？



新聞で読んで「こういう制度があるんだな」という程度に知っていました。これまでは老後の資産管理対策といったら「遺言」か「任意後見制度」かだと思っていたので、そこに新しい選択肢が一個増えたなという感じでしたね。

制度を知ってから中身をもう少し調べてみようと思い、司法書士先生とか弁護士先生が書いている本なんかを2、3冊くらい読み始めました。だけど、本を読んでも仕組みはいまいち理解できませんでした。一般の人向けに書き下してはあるんだけど、彼らが常識と思っているラインと、我々のベースラインっていうのは差があるので……。

専門用語一つとっても、彼らが普通に使う言葉でも私には理解するのが難しかったです。特に一番知りたいのは「自分のケースはかくかくしかじかな状況で、その場合はどうすればいいのか」ってことでしたが、本には公式的なことしか載っていないですからね。

遺言や任意後見制度は歴史がある分、周りから話を聞いたりと情報を得やすいけれど、家族信託は歴史が浅いので理解を深めるための適切な方法がないなと感じていました。だからそういう意味でも、直接聞くってことが一番手っ取り早い手段だなと思い相談に踏み切りました。

委託者様からのご相談はあまり多くないのが現状ですが、なぜ家族信託の利用を考えるようになったのでしょうか？

うちは女房が若年性認知症になったという特殊事情があったので、そこが将来について考える大きな要因だったと思います。

若年性認知症っていうのは65歳より手前で発症するものです。女房を一人にしておくわけにはいかないので、サラリーマンを退職しました。

でもそうすると、貯金か退職金しかなくなってしまうので、今後の生活費や介護費をどうするんだってことでかなり悩みました。絶対に女房より先に死ねないから健康でいなくてはいけないですし、女房の面倒を見ることはもちろんだけれども、私だっていつ交通事故だとか病気になるかわからないから……自分が残しているお金でなんとか面倒をみれるように、そして、自分自身も健康に暮らせるように何か対策しなきゃいけないという思いから利用を考えるようになりました。



お客様からのご相談の中には「もう少し先に考えたい」といったお声も多くありますが、今進めようと思ったのはなぜでしょうか？



女房の面倒を見ている自分ももし動けなくなったら共倒れになってしまうので、そのような事態を避けたかったということが一番の理由ですね。病気とか怪我とか事故とか、そういうものはいつ起こるかわからないので……。

だから、介護など他の色々な面を考える時も「共倒れにならない」ということを全ての原点、設計の基準に置いていました。

正直めんどくさいっていう思いを持つ方もいるんじゃないかと思います。家族信託をやることによって、現在の生活に色々と制約を受けるようになるんじゃないかという不安なんかもあるだろうし……。それで子供とか親戚とか「死んだ時は誰かがやってくれるからいいや」なんていう風についつい考えてしまうんですね。だけど、何か対策をしているのとしていないのでは残された家族の負担が全然違うから、考える力がある今のうちから将来について対策していく必要があるんじゃないかと思います。

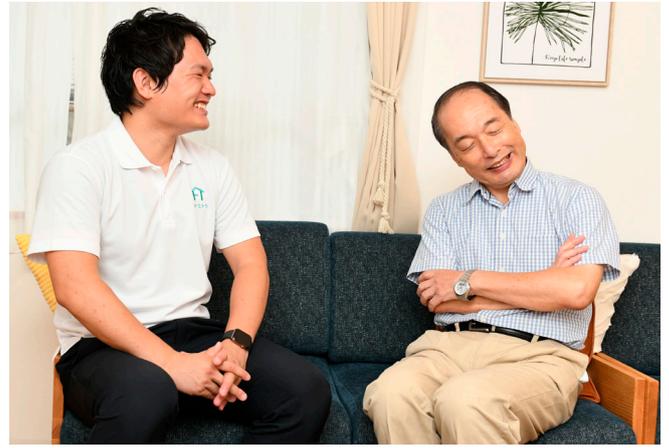
数ある相談先の中でファミトラを選んでいただいた経緯についてお伺いできますか？

家族信託は新しい制度なので、最初はどこに相談したら良いのか正直わからなかったです。色々悩んで前へ進まない中、たまたま知人から「こういうのがあるよ」って言われて、他社のパンフレットをもらいました。弁護士先生ばかりの会社で安心感もあったので、電話で話を聞いてみることにしたんですけど、費用がすごく高くて……（笑）

それに、こちらの要望に対してなかなか思うような回答が得られない感じがあったので、他にも調べてみようと思いネットで検索したところ、ファミトラさんが出てきたんです。

ファミトラさんはあまり堅くなかったよね。堅くないというのは、敷居が高くないというか、親しみがあるっていう点では良い意味だね（笑）

パンフレットも一通り見ましたけど比較的わかりやすかったし、値段もすごく良心的だなと思いました。後見制度の場合だと、月々の電話料金なんかも負担しないとけないと聞いたことがあって……。仮に月 5000 円だとすると、年間で 6 万円。もし 10 年間元気でいたら 60 万になっちゃうから、それと比べたらファミトラさんの年額費用は全然安いなと思って納得感がありました。



お子様に財産を預ける、委託するということにご不安などもあったのではないのでしょうか？



正直、自分が住んでいるマンションが息子の名義になるって聞いた時は「うっ」と思いました。売ったとかなら理解ができるんですが、売ったわけじゃないので。今までと同じ生活しながら、その所有権は息子に移っちゃうんだと思うとやっぱり寂しかったです。

息子が「そもそも受託者として受けてくれるかな」という心配も実はあったんですよね……。だけど、息子にとってはお母さんでもある女房や自分がだめになってしまった時に、息子のお金だけでどうにかなるってものではないから。そういう話をしたらやってくれたわけです。あとはもう、信用するしかないなと思っています。

ファミトラのサービスを利用してみた率直な感想を教えてください。

家族信託を利用するにあたって、どういう手続きをしなければならないのかわかっていなくてだったので、必要な工程をステップ表にして示していただけで非常にわかりやすかったです。

ファミトラさんは、司法書士先生であったり弁護士先生であったり周辺専門家等とのネットワークも整っていたので、ステップごとに関連する専門家を紹介してもらえると非常にありがたかったですね。

自分で探すと「本当にこの人は家族信託のことわかっているのかな」という不安があると思うけど、ファミトラさんを紹介してもらえると分かっていうことで悩む必要もなかったです。また、紹介してもらった時も「この人はこういうことを望んでいます」という相談内容の大枠を伝えてもらっていたので、私が一から説明する必要もなくスムーズに手続きを進められるということも魅力でした。



家族信託を締結することにより、何か心配ごとが起こった時でも「最悪の事態は回避できる」という仕組みが後ろに控えてくれているという安心感が持てるようになったので非常に満足しています。

ファミトラが信託監督人になるということについてはいかがでしたか？

息子は普段仕事をしていますし家族信託の知識も十分ではありませんし、信託が開始した後にどんな細かい作業があるかわからない中で受託者を引き受けるのは不安もあったと思います。ただファミトラさんが監督人としてチェック・アドバイスしてくれたり、場合によっては専門家を紹介してくれたりするから、すごく気が楽だと思えますね。

「監督」っていうと、後見制度の監督人ではないけど、伝票の一つひとつまで全部見るみたいに「管理される」という風を感じてしまう人もいるかもしれませんが、私は「アドバイザー」というような意味合いに捉えましたね。信託の目的に合った使い方をしているか、手続きを忘れていないか等のチェックをしてくれる役割は必要だし、そのために費用を払うということに納得したんですね。縁を切らないで、監督人として長期的にお付き合いしてくれるということをプラスに捉えようとすごくありがたいなと思います。

最後に、現在家族信託を検討している方や、将来について悩んでいる方に対してメッセージをお願いします。

一昔前までは、子どもに生活面もお金も面倒をみてもらうような風潮があったかもしれないけど、今はもうそういう時代は終わったと思っています。

子どもには子どもらの世界、家庭があるわけだから。そこに親であれども入ってくれば、生活設計も家計的にも狂いが生じてしまうので、そういう迷惑をかけないために「自分のことは自分でやる時代」だと思うんですね。

だから、自分が元気なうちに貯めた資産で、子どものお金に頼らず、自分自身や女房の生活を見ていけるようにするという方針であらゆる制度を見ていくことが大切だと伝えたいです。



そして、よく混同されるのが遺言と後見制度とこれ（家族信託）だと思いますけど、遺言は死んでからの話で、死ぬまでは何もできないですから。今我々が問題視しなくちゃいけないのは、生きてるうちに認知症や病気で意思能力がないとか意識不明だとかになってしまった時のことなんです。成年後見制度と家族信託では一長一短あるんだろうけど、後見制度の場合だと意外に経費がかかったり、手続きが煩雑だったりしますしね。

そういう部分も考えた時、あらゆる面でくまなく対策できるのが家族信託だと思います。自分や家族がどういう生活を送りたいのか、信託の目的として書いておけますから、多くの人にとって使いやすい制度なんじゃないかな。

元気でいるうちはきっかけが掴めないものだと思います。家族が集まる機会も今は正月やお盆か、冠婚葬祭があった時くらいだろうし、そんな縁起の悪いことよりも、もっと楽しいお話をしたいって思っちゃうわけですからね。

だけど、今みたいなコロナ禍では特に、いつ誰がどういう風になるかわからないので……こういう時だからこそ、「自分に何かあったときに費用は誰が持つのか」といった将来のことを考えていただけたら良いなと思います。

K.D 様、貴重なお話をお聞かせいただきありがとうございました。（ファミトラ一同）

Q&A 家族信託のお問い合わせに関するよくあるご質問



Q：ファミトラに相談する上で、事前に準備しておいた方が良いことはありますか？

A：事前に準備しておくべきことは特にございません。お話を伺いながら「どのような準備が必要か」などもお伝えいたしますのでご安心ください。ただ、もしお見積りや信託組成までにかかる期間、手続きなどを具体的にお知りになりたい場合は、**財産の種類や金額のわかる書類（固定資産税評価額など）**をご準備いただけますと、より具体的な回答を差し上げることが可能です。



Q：無料相談はどんな時に役に立ちますか？

A：「ご家族が家族信託を利用できるかどうか」「家族信託の利用がご家族にとって最適かどうか」などを判断していただくのにお役立ていただけるかと思えます。経験や知識の豊富なコーディネーターが、**お客様一人ひとりのご状況に合わせて親身にサポートいたしますので、「まずはお話だけ」という方もお気軽にご相談くださいませ。**



家族信託に関するお悩み・ご相談・お問い合わせはこちらまでお願いします。



0120-622-044

受付時間

月曜日～日曜日
9:00～18:00



ファミトラ公式ホームページ

家族信託やサービスについての詳細は左のQRコードよりご確認くださいませ。



ファミトラ公式LINE

LINEを使って資料請求や相談のご予約が可能です。



発行元：株式会社ファミトラ

〒106-0032 東京都港区六本木7-18-18 住友不動産六本木ビル2F

TEL：0120-622-044 メール：cs@famitra.jp

ホームページ：<https://www.famitra.jp/>

※「家族信託®」は一般社団法人 家族信託普及協会の登録商標です

※「家族信託コーディネーター®」はプロサーチ株式会社の登録商標です

発行：2021年7月30日発行 第1.0版